

2015年度通常総会について

2015年度通常総会は2015年4月27日に開催され、以下の議案がすべて原案どおり承認されましたので、お知らせします。

第1号議案：2014年度事業報告の件

第2号議案：2014年度決算報告および監査報告の件

第3号議案：2015年度-2016年度新役員承認の件

報告1：2015年度事業計画

報告2：2015年度収支予算

(第1号議案)

2014年度事業報告

事業番号：公1（1本のみ）

事業の内容：オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

- (1) 春季研究発表会を3月6日、7日の両日、大阪大学（豊中）にて開催した。

発表件数133件 参加366人

・特別テーマ「新時代のビジネスとOR」

・特別講演（一般公開）

- 1) 「この先は工事中です2—安定結婚問題における戦略的可能性について」（研究賞受賞講演）

松井知己（東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授）

- 2) 「世代の経済学」

大竹文雄（大阪大学 理事・副学長）

- (2) 秋季研究発表会を8月28日、29日の両日、北海道科学大学にて開催した。

発表件数136件 参加328人

・特別テーマ「ORの普及」

・特別講演（一般公開）

- 1) 「多品種流と距離空間」（研究賞受賞講演）

平井広志（東京大学 准教授）

- 2) 「都市空間のモデル化—都市のOR40年—」

腰塚武志（前会長・南山大学 教授）

- 3) 「スポーツビジネスへの挑戦」

藤井純一（前・近畿大学 教授）

2. シンポジウム

- (1) 春季シンポジウムを3月5日、大阪大学（豊中）にて開催した。
テーマ「ICTとOR」 講演4件 参加者108人
- (2) 秋季シンポジウムを8月27日、北海道科学大学にて開催した。
テーマ「メタヒューリスティクスの新たな挑戦」 講演4件 参加者127人

3. ORセミナー

- ・第1回「DEAチュートリアル」を4月19日、(株)構造計画研究所本所新館にて開催した。参加者49名。
・コーディネーター／司会：斉藤努（(株)構造計画研究所）

題 名	講 師
1. 「DEA入門」	上田 徹（フェロー）
2. 「DEAの医療分野での応用例」	栞原雄樹（東京大学）
3. 「DEAモデルからの発展—ブラックBOXからネットワークモデリングへ—」	筒井美樹（電力中央研究所）
4. 「DEAモデルからの発展—不確かさの導入—」	森田 浩（大阪大学）

- ・第2回「技術者のためのゲーム理論の基礎」を12月6日、(株)構造計画研究所本所新館にて開催した。
参加者66名。
・コーディネーター／司会：樫尾博（東京ガス(株)）

題 名	講 師
1. 「初歩から学ぶゲーム理論」	渡辺隆裕（首都大学東京）
2. 「ビジネスとゲーム理論」	松林伸生（慶應義塾大学）
3. 「マッチングとその応用」	岩崎 敦（電気通信大学）
4. 「オークションのデザイン」	福田恵美子（防衛大学校）

4. ORサロン

本年はなし。

5. 企業事例交流会

- (1) 春季企業事例交流会（第33回）を春季研究発表会にて開催した。発表件数4件。
- (2) 秋季企業事例交流会（第34回）を秋季研究発表会にて開催した。発表件数4件。

6. 新宿OR研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催しており、2015年2月例会が通算第345回。

テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌・ホームページ・メールマガジンに開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。現世話人は小池 清会員（フェロー）。

【機関誌、論文誌の刊行およびインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行およびインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2014年3月1日	58	3	2,650部
2014年4月1日	58	4	2,650部

2014年5月6日	58	5	2,650部
2014年6月1日	58	6	2,650部
2014年7月1日	58	7	2,650部
2014年8月1日	58	8	2,650部
2014年9月1日	58	9	2,650部
2014年10月1日	58	10	2,650部
2014年11月1日	58	11	2,650部
2014年12月1日	58	12	2,650部
2014年12月28日	59	1	2,650部
2015年2月1日	59	2	2,650部

2. 論文誌

Journal of the Operations Research Society of Japan, 和文論文誌 (Transactions of the Operations Research Society of Japan) を下記のとおり発行した。

なお、論文誌はインターネット上で無料公開しており、下記の発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

発行年月日	巻	号	発行部数
2014年3月	57	1	130部
2014年6月	57	2	130部
2015年1月	57	3・4	130部
2015年1月(和文)	57		80部

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査、幹事	メンバー	開催	内 容	場所
1	待ち行列	三好直人 (東京工業大学) 井家 敦 (神奈川工科大学)	27名	7回	7回の部会(講演14件)において、待ち行列および情報通信ネットワーク等関連分野の研究動向について意見交換を行った。延参加者153名。2015/1/22-24に「確率モデルとその応用」研究部会と共催で「2014年度確率モデルシンポジウム」を開催。	東京工業大学 大岡山キャンパス
2	数理計画 (RAMP)	松井知己 (東京工業大学) 清見 礼 (横浜市立大学)	35名	1回	10月16・17日に第26回シンポジウムを開催した。テーマは土木計画学における最適化・エネルギー利用最適化への挑戦、世界をリードする計算機科学の巨大プロジェクト、整数計画等の理論および応用の最前線で活躍している研究者を講演者として招いた。海外からも4人の講師・多くの研究者や学生が参加し、最先端の研究成果について情報交換を行った。延参加者175名。	法政大学 (市ヶ谷)

3	評価のOR	関谷和之 (静岡大学) 筒井美樹 (電力中央研究所)	13名	5回 (内合同 1回)	年4回の定例研究会を開き、毎回2名の講演者を招くことで、DEAを主にORでの評価手法・意思決定手法に関して計8件の講演を行った。また、OR学会春季・秋季発表会にて特別セッションを開催した。延参加者54名。4月19日はORセミナーとして「DEAチュートリアル」を開催し、参加48名。	政策研究大学院大学
4	意思決定法	田地宏一 (名古屋大学) 西澤一友 (日本大学)	25名	5回	5回の研究部会を通じて、意思決定法に関する発表により、理解を深め、交通選択や介護ネット監視など幅広い応用例に対する柔軟かつ実用的な適用方法論と手法について議論した。計10件の講演を実施し、延参加者40名。	日本大学・ 桜門会館、他
5	サプライチェーン戦略	米沢 隆 (日本IBM(株)) 草刈君子	26名	5回	サプライチェーンにおける経営戦略、実施戦略、戦略的ビジネスプロセス、グローバルSCM、OR手法の適用について、事例と理論の両面から研究する。 延参加者130名。 http://scs.blog.so-net.ne.jp /参照	青山学院大学 総研ビル

	研究部会	主査、幹事	メンバー	開催	内 容	場 所
1	最適化の理論と応用	牧野和久 (京都大学) 小林佑輔 (東京大学)	10名	5回	今年度も学生・若手研究者による合宿形式の発表会を実施、一般講演36件・特別講演2件、125名が参加した。 定例会合4回で講演、計8件延参加者112名。	東京大学、 筑波大学、他
2	数理的手法の展開と応用	金子宏之 (小松短期大学) 武市祥司 (金沢工業大学)	10名	5回 (内合同 1回)	数理モデルをキーワードとして、北陸地区において5回の研究集会を開催し、計15件の研究報告があった。OR周辺領域からも講演者を招き、理論から応用まで幅広いテーマについて議論し、研究交流を行った。延参加者69名。	金沢学院大学、 福井工業大学、 他
3	サービスイノベーションへの数理的アプローチ	高木英明 (筑波大学) 雑賀憲彦 (名城大学)	20名	5回 (内合同 1回)	サービス産業の生産性向上とイノベーションに向けて、データ分析等の統計科学的手法や数理最適化や待ち行列等の数理科学的手法で問題の発見と解決を試みるテーマを中心に、研究会4回、確率モデルシンポジウムにて「医療サービスサイエンス」を共催した。13件の発表。延参加者107名。	筑波大学、 名城大学
4	大規模インフラストラクチャーのOR	三浦英俊 (南山大学) 鳥海重喜 (中央大学)	19名	11回	多国間にまたがるような大規模なインフラストラクチャーの構築や役割についてなどについてORの視点から取り組んだ。特に①電力供給体制を考察するためのORモデル構築②IT化社会とITインフラ③アジアにおける物流環境の3テーマで研究を推進した。延参加者89名。	日本GIF財団 会議室

5	食べもの OR	石井博昭 (関西学院大学) 関 宏理 (関西学院大学)	14名	5回 (内合同 2回)	今年度は5回の部会で講演10件を実施した。 OR、情報システム、統計学など様々な分野 の観点から食べものORにおける最新動 向や関連研究に関し活発な議論を行った。 延参加者44名。	関西学院大学、 他
6	不確実性シス テムにおける 意思決定	木庭 淳 (兵庫県立大学) 小出 武 (甲南大学)	14名	5回 (内合同 1回)	不確実性を伴うシステムにおいて意思決定 が必要な場合、OR的手法での問題解決を目 的として議論した。それらの組合せによる 発展などの講演を拝聴し、特に、配置問 題・経済分析・ネットワーク等の最新情報 を交換した。延参加者78名。	西宮市大学交 流センター・ 大阪工業大学、 他
7	複雑系とOR	木下正博 (北海道科学大学) 西川孝二 (北海道科学大学)	15名	4回 (内合同 1回)	複雑系工学と最適化問題の関係を明らかに するために、複雑系工学の最先端研究講師 を招いて議論を行った。複雑な構造を持つ 対象に対して、最適化の情報処理手法が有 効であることが確認された。講演11件、延 参加者44名。	小樽商科大学 札幌サテライ ト・北海道科 学大学
8	ORにおける ゲーム理論	渡辺隆裕 (首都大学東京) 梅澤正史 (東京理科大学)	10名	6回	ORにおけるゲーム理論研究や様々な分野の 講演者を招聘した。延参加者41名。12月6 日第2回ORセミナーとして「技術者のため のゲーム理論の基礎」を開催。講演4件、 参加者65名。	東京工業大学 大岡山キャン パス
9	OR普及のた めのモチ ベーション教 育	大堀隆文 (北海道科学大学) 加地太一 (小樽商科大学)	15名	4回 (内合同 4回)	従来とは異なる視点から、学会会員増強を 主な目的とする研究部会で、一般には難解 と思われるORを学ぼうとする人を増 やす仕掛けについて研究する。発表11件、 延参加者44名。	小樽商科大学 札幌サテライ ト
10	安全・安心・ 強靱な社会と OR	神藤 猛 (千葉大学) 横谷大輔 (航空自衛隊)	20名	8回 (内合同 4回)	国家の危機管理、特に安全・安心に対する 強靱な社会基盤を構築、サイバー攻撃、感 染症等多様なインシデントへの有効な対処 と数理的分析、政策立案について議論した。 一部は内閣府報告実施。講演23、延参加者 180名。	政策研究大学 院大学
11	確率モデルと その応用	穴太克則 (芝浦工業大学) 吉良知史 (九州大学) 堀口正之 (神奈川大学)	12名	5回 (内合同 1回)	計11件の講演を実施し、部会メンバー間の 研究討議を活発に行った。待ち行列部会と の共催の「確率モデルシンポジウム」では 当部会関係で3件の発表があった。国際会 議参加発表にも積極的に取り組んだ。延参 加者107名。	上智大学、 神奈川大学
12	公共的社会シ ステムとOR	諸星穂積 (政策研究大学院大 学) 田中健一 (慶應義塾大学)	10名	5回	公共的な社会システム全般における問題解 決、意思決定、評価に関して、ORの理論と 応用研究について講演・討議した。発表11 件、延参加者63名。また、秋季研究発表会 にて「特別セッション」を開催した。	政策研究大学 院大学

13	信頼性	土肥 正 (広島大学) 肖 霄 (首都大学東京)	20名	6回 (内合同 1回)	信頼性をキーワードに関東・関西・中国地方と全国で6回の研究集会開催。OR周辺からも講演者を招き、13件の招待講演・5件の一般研究発表。延参加者104名。	金城学院大学・首都大学東京、他
14	ビッグデータとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) 高野祐一 (専修大学)	12名	4回	小売業の購買履歴データおよび購買に付随した「データ解析コンペティション」を開催、29チーム・延参加者290名を得て、分析と得られた知見について議論した。	慶應義塾大学
15	リーンマネジメントシステム	中島健一 (神奈川大学) 蓮池 隆 (大阪大学)	7名	5回	徹底的な無駄の排除を念頭におき、環境や人に優しいリーン(無駄のない)システム構築に向けた要因抽出のための現状把握やシステム評価について、講演と議論を行った。延参加者42名。	横浜・大阪・沖縄、他

	研究グループ	主査, 幹事	メンバー	開催	内 容	場 所
1	都市と地域のOR	大澤義明 (筑波大学) 石井儀光 (独)建築研究所)	50名	2回	サマー・セミナーを8月22日に筑波大学で開催し11件の発表と40名の参加者があった。ウィンター・ワークショップを12月13・14日南山大学で開催し38件の発表と76名の参加者があった。延参加者192名。	筑波大学・南山大学

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

(春季表彰)

- (1) 第39回普及賞
 - ・久志本 茂 (金沢大学)
 - ・大山達雄 (政策研究大学院大学)
- (2) 第38回実施賞
 - ・キャノンITソリューションズ株式会社
 - ・JFEスチール株式会社
- (3) 第15回業績賞
 - ・室田一雄 (東京大学)

(秋季表彰)

- (1) 第4回研究賞
 - ・平井広志 (東京大学)
- (2) 第3回研究賞奨励賞
 - ・飯塚秀明 (明治大学)
 - ・岸本 信 (東京工業大学)
 - ・肖 霄 (シャオシャオ) (首都大学東京)
 - ・高野祐一 (東京工業大学)
 - ・福永拓郎 (国立情報学研究所)
- (3) 第34回事例研究賞
 - ・山崎 諭 (南山大学) ら3人
 - ・岩永二郎 ((株)NTTデータ数理システム) ら4人
 - ・巴波弘佳 (関西学院大学) ら3人

- (4) 第4回論文賞
・増山博之（京都大学）
- (5) 第32回学生論文賞
・五十嵐歩美（修論 筑波大学）
・Wu Wei（呉 偉）（修論 名古屋大学）
・宮内敦史（修論 東京工業大学）
・山之内亮介（修論 南山大学）
・横井 優（修論 東京大学）

【支部活動】

（北海道支部）

活動	年月日	場所	内 容
総会	2014/3/26	北海道大学	2013年度事業報告，決算， 2014年度事業計画，予算，役員
サマースクール	2014/8/7, 8	斜里町公民館	「評価のOR」と共催 評価のORから2件，OR一般から3件，ファイナンスから4件の発表参加者21名
講演会	2014/12/19	小樽商大札幌サテライト	講演1：テーマ：地域デジタルアーカイブの構築と歴史資料の Linked Open Data化による活用 講演2：テーマ：カーリング科学に向けて～冬季スポーツ工学と戦術支援技術～ 参加者15名
ウィンターワークショップ	2015/02/16, 21	夕張市マウントレースイ	12件の講演と3件の講義 参加者14名
講演会	2015/2/20	小樽商大札幌サテライト	講演1：テーマ：観光におけるシリアスゲームとゲーミフィケーション 講演2：テーマ：スタートアップにおける資本戦略 参加者12名

（東北支部）

活動	年月日	場所	内 容
総会	2014/3/28	東北大学	2013年度事業報告，2013年度決算，2014年度事業計画など
講演会	2014/3/28	東北大学	佐藤公俊氏（早稲田大学） 「高速鉄道と航空の提携効果に関する分析」
研究会	2014/5/28	東北大学	Hanan Luss 氏（Columbia University） 「Equitable Resource Allocation: Models, Algorithms, and Applications」 Milan Vlach 氏（Charles University in Prague） 「Stepwise solutions to cooperative bargaining」
研究会	2014/7/4	東北大学	林 俊介氏（東北大学） 「制約付き最適化：錐の制約と無限の制約」

(中部支部)

活動	年月日	場所	内 容
総会	2014/3/15	ウインクあいち	2014年度事業・予算・役員承認
第41回支部研究発表会	2014/3/15	ウインクあいち	12件の発表, 参加者46名
特別講演	2014/3/15	ウインクあいち	講師: 中村正治 (金城学院大学) 題目: 累積損傷モデルの応用について 参加者46名
第11回中部支部シンポジウム	2014/9/27	愛知県立大学サテライト (ウインクあいち15階)	テーマ「今なら解ける! 問題解決のための最適化技術」 講演者: 宮代隆平 (東京農工大学), 梅谷俊治 (大阪大学), 永田裕一 (徳島大学), 江崎洋一 (キヤノン IT ソリューションズ) 参加者59名
支部講演会	2014/12/6	愛知大学 名古屋キャンパス	講師: ビトヨ ハルトノ (中京大学) 題目: ニューラルネットワークによる高次元データの次元圧縮と可視化 講師: 増山 繁 (豊橋技術科学大学) 題目: システムモデリングにおけるアルゴリズム・計算量理論の意義~鉄道, AGV (自動搬送車), 日本プロ野球試合におけるスケジューリングを例として~ 参加者21名
支部研究会	2014/10/25	名古屋工業大学	講師: 志賀元紀 (岐阜大学) 題目: 機械学習に関する最適化問題 講師: 伊藤弘道 (三菱重工業株式会社) 題目: 民間航空機のORモデル 参加者18名
支部研究会	2014/11/29	石川県文教会館	講師: 前田義信 (新潟大学) 題目: 人工学級ゲームを用いたプレイヤーとエージェントのハイブリッドシミュレーション 参加者14名
支部研究会	2014/11/30	金沢学院大学サテライト教室	講師: 寒河江雅彦 (金沢大学) 題目: 統計的非線形判別分析法とその周辺 参加者14名
出前講義	2014/10/29~31, 11/4~7, 11/13	名古屋市立名東高校	テーマ「オペレーションズ・リサーチを知る~EXCEL実習を通じて」 講師: 柳浦睦憲 (名古屋大学), 中出康一 (名古屋工業大学), 茨木 智 (名古屋市立大学), 奥田隆史 (愛知県立大学), 橋本英樹 (名古屋大学)
講習会	2014/12/20	名古屋市立大学	題目: ソルバーで解決~フリーソフト使用編 講師: 茨木 智 (名古屋市立大学) 参加者20名

(関西支部)

活動	年月日	場所	内 容
記念講演会	2014/3/22	キャンパス ポート大阪	山本達司氏（大阪大学）により「Stock Crash and R-Squared around a Catastrophic Event: Evidence from the Great East Japan Earthquake」という演題で講演を拝聴し、20名の参加者があった。
総会	2014/3/22	キャンパス ポート大阪	2013年度事業報告・決算および2014年度事業計画・予算などが承認された。参加者は20名であった。
支部シンポジウム	2014/7/5	大阪大学中之 島センター	「この課題、ORで解けますか？～企業の課題にOR研究者が答える企業事例研究会～」というテーマで3件の講演を拝聴し、パネルディスカッションを行った。 参加者は30名であった。
支部講演会	2014/10/25	関西学院大学 大阪梅田キャンパス	「ゲーム理論研究交流会」を開催し、4件の講演を拝聴した。19名の参加者があった。

(中国・四国支部)

活動	年月日	場所	内 容
総会	2014/3/28	広島経済大学	平成25年度活動・決算報告, 平成26年度支部役員・活動予定・予算の報告
支部事業 (ISS2014)	2014/8/19	広島大学	信頼性・保全性の確率モデルに焦点を当て、当該分野の最新の研究成果について7件の講演を行った。
シンポジウム	2014/11/22	米子コンベン ションセン ター	鳥取県および隣国韓国におけるIT産業における人材育成や品質指向ソフトウェアマネジメント技術に関する現場での問題に関する8件の講演を行った。
講演会	2014/11/11 2015/3/12	鳥取大学	研究部会「ソフトウェア品質マネジメントと最適化」主催分 講師：全2名
講演会	2014/7/26 2015/3/10	広島工業大学 下関市立大学	研究部会「SCM&サービス工学へのOR応用」主催分 講師：全2名
講演会	2014/12/9 2015/1/29 2015/2/27	鳥取大学	研究部会「地方都市の数理解析」主催分 講師：全3名
講演会	2015/2/7 2015/2/12 2015/2/19 2015/2/26	広島工業大学 徳島大学 鳥取大学 広島大学	講師：川勝英史氏（尾道市立大学） 講師：一ノ瀬元喜氏（阿南高専）他4名 講師：山川純平氏（三菱電機コントロールソフトウェア） 講師：片桐英樹氏（広島大学）
			その他、協賛事業2件

(九州支部)

活動	年月日	場所	内 容
総会	2014/3/22	福岡大学	H25年度活動報告、H26年度活動計画、14名参加
講演会	2014/3/22	福岡大学	岩本誠一氏（九州大学名誉教授）「『最適化の数理解析 II ベルマン方程式』前後」、14名参加
講演会	2014/7/19	九州工業大学 サテライト	大橋正良氏（福岡大学）「水平展開を目指したセンサネットワークの研究開発」、15名参加

研究会	2014/7/19	九州工業大学 サテライト	2件の研究発表, 池田 諭氏 (宮崎大学), 太宰 潮氏 (福岡大学), 15名参加.
交流会	2014/10/25~ 10/26	旅館魚半	1泊2日合宿形式の九州地区における若手研究者中心の交流会, 15件の研究発表, 38名参加
講演会	2014/10/25	旅館魚半	吉良知文氏 (九州大学) 他2名 「野球と動的計画法」, 38名参加
講演会	2014/12/6	西南学院大学	川崎英文氏 (九州大学) 「Lovasz 拡張とL凸関数の凸性について」, 17名参加
研究会	2014/12/6	西南学院大学	2件の研究発表, 林田 実氏 (北九州市立大学), 中田寿夫氏 (福岡教育大学), 17名参加

【会議】

(1) 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
2014.4.21 (三菱重工業(株))	1. 2013年度事業報告の件 2. 2013年度収支計算報告および監査報告の件 3. 2014年度-2015年度役員承認の件	承認 〃 〃

(2) 理事会 (略)

【役員】

理事 (非常勤)

定数: 12人から18人 (現在: 18人)

任期: 2年

監事 (非常勤)

定数: 2人 (現在: 2人)

任期: 2年

2014年度末現在

【職員】 (略)

【会員状況】

2014年度入退会状況

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計
2014.2.28	12	1730	288	37 (46)	18 (18)	2085 (64)
入 会		40	104	1 (1)	1 (1)	146 (2)
退 会	▲1	▲72	▲88	▲2 (▲2)	▲4 (▲4)	▲167 (▲6)
移 動	学→正	23	▲23			
	正→学	▲2	2			
	正→名					
資格喪失		▲24				▲24
復 活						
2014年度累計 純増減	▲1	▲35	▲5	▲1 (▲1)	▲3 (▲3)	▲45 (▲4)
2015.2.28現在	11	1695	283	36 (45)	15 (15)	2040 (60)

() 内は口数

支部別会員数 (2015. 2. 28)

支部	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計	前年比	
							個	賛
北海道	0	54	5	1	0	60	4	
東 北	1	58	7	0	0	66	▲4	
中 部	0	149	38	1	0	188	▲3	▲1
関 西	1	240	31	5	0	277	▲12	
中四国	0	100	15	1	0	116	▲6	
九 州	0	81	30	0	0	111	5	
本 部	9	1013	157	28	15	1222	▲25	▲3
合 計	11	1695	283	36	15	2040	▲41	▲4

貸借対照表

平成27年 2月28日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	21,335,489	25,049,466	△ 3,713,977
未収会費	1,153,400	1,319,000	△ 165,600
未収金	1,000,740	866,775	133,965
前払金	256,607	249,480	7,127
前払費用	50,560	701,270	△ 650,710
流動資産合計	23,796,796	28,185,991	△ 4,389,195
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	711,200	711,200	0
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	7,000,000	7,000,000	0
OA化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
OR事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
特別研究積立金資産	5,000,000	5,000,000	0
近藤賞基金引当資産	11,102,069	11,102,069	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
創立60周年記念事業準備資産	15,000,000	15,000,000	0
I C C O P T 東京積立資産	6,000,000	5,000,000	1,000,000
I C C O P T 東京大会資金	1,090,597	0	1,090,597
若手OR研究者育成基金	10,000,000	0	10,000,000
リース資産	1,440,815	1,481,760	△ 40,945
特定資産合計	105,224,681	93,175,029	12,049,652
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	106,175,081	94,125,429	12,049,652
資産合計	129,971,877	122,311,420	7,660,457
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	172,365	225,860	△ 53,495
前受金	1,411,000	2,559,447	△ 1,148,447
前受会費	19,957,800	21,166,000	△ 1,208,200
預り金	39,948	123,050	△ 83,102
未払消費税等	483,800	267,600	216,200
流動負債合計	22,064,913	24,341,957	△ 2,277,044
2. 固定負債			
退職給付引当金	914,400	711,200	203,200
リース債務	2,175,588	1,452,150	723,438
固定負債合計	3,089,988	2,163,350	926,638
負債合計	25,154,901	26,505,307	△ 1,350,406
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	6,090,597	5,000,000	1,090,597
指定正味財産合計	6,090,597	5,000,000	1,090,597
(うち特定資産への充当額)	(6,090,597)	(5,000,000)	(1,090,597)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	98,726,379	90,806,113	7,920,266
(98,422,884)	(98,422,884)	(87,463,829)	(10,959,055)
正味財産合計	104,816,976	95,806,113	9,010,863
負債及び正味財産合計	129,971,877	122,311,420	7,660,457

正味財産増減計算書

平成26年 3月 1日から平成27年 2月28日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	21,963	17,872	4,091
受取利息	21,963	17,872	4,091
受取入会金	108,800	300,600	△ 191,800
受取正会員入会金収入	42,600	218,400	△ 175,800
受取学生会員入会金収入	66,200	82,200	△ 16,000
受取会費	29,609,000	31,640,200	△ 2,031,200
正会員受取会費収入	24,408,000	25,603,200	△ 1,195,200
学生会員受取会費収入	15,000	470,000	△ 455,000
賛助会員受取会費収入	5,186,000	5,567,000	△ 381,000
事業収益	18,325,146	15,641,477	2,683,669
受取販売収益	3,890,679	2,851,424	1,039,255
受取研究発表参加収入	3,480,000	3,641,000	△ 161,000
受取参加料	3,834,000	1,887,000	1,947,000
受取広告料	5,750,885	5,162,600	588,285
受取受託料	1,000,000	1,360,000	△ 360,000
受取掲載料	226,000	556,500	△ 330,500
受取著作権料	143,582	182,953	△ 39,371
受取補助金等	137,500	636,750	△ 499,250
受取寄付金	9,403	0	9,403
雑収益	15,920	136,296	△ 120,376
受取利息	3,920	4,572	△ 652
雑収益	12,000	131,724	△ 119,724
経常収益計	48,227,732	48,373,195	△ 145,463
(2) 経常費用			
事業費	35,225,702	33,608,933	1,616,769
給与手当	3,032,632	3,045,379	△ 12,747
賞与	1,136,722	1,127,722	9,000
臨時雇賃金	3,645,986	3,312,261	333,725
法定福利費	23,237	13,632	9,605
旅費交通費	1,306,677	974,562	332,115
通信運搬費	2,769,196	2,747,331	21,865
退職給付費用	182,880	182,880	0
消耗品費	929,942	1,438,528	△ 508,586
会議費	3,696,675	2,774,190	922,485
印刷製本費	7,956,346	7,484,100	472,246
広告宣伝費	0	38,850	△ 38,850
修繕費	42,100	0	42,100
貸借料	2,764,949	2,694,384	70,565
保険料	3,555	27,855	△ 24,300
租税公課	483,500	259,800	223,700
諸謝金	4,204,123	4,290,271	△ 86,148
委託費	2,224,026	2,150,820	73,206
支払手数料	238,791	357,930	△ 119,139
減価償却費	380,696	382,158	△ 1,462
貸倒損失	146,880	306,280	△ 159,400
雑費	56,789	0	56,789
管理費	4,311,904	4,388,286	△ 76,382
給与手当	336,956	338,373	△ 1,417
賞与	126,302	125,302	1,000
臨時雇賃金	296,364	292,896	3,468
法定福利費	2,581	1,514	1,067
旅費交通費	662,151	550,412	111,739
通信運搬費	22,864	294,770	△ 271,906
退職給付費用	20,320	20,320	0
消耗品費	29,035	41,275	△ 12,240
会議費	525,024	290,850	234,174
印刷製本費	0	18,952	△ 18,952
修繕費	4,676	47,880	△ 43,204
貸借料	307,208	299,376	7,832
保険料	395	3,095	△ 2,700
租税公課	12,000	9,950	2,050
水道光熱費	236,058	223,885	12,173
委託費	541,000	441,000	100,000
支払手数料	54,510	57,935	△ 3,425
支払報酬料	355,950	380,625	△ 24,675
諸会費	515,891	560,925	△ 45,034
減価償却費	42,299	42,462	△ 163
貸倒損失	220,320	241,920	△ 21,600
雑費	0	104,569	△ 104,569
経常費用計	39,537,606	37,997,219	1,540,387
評価損益等調整前当期経常増減額	8,690,126	10,375,976	△ 1,685,850
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	8,690,126	10,375,976	△ 1,685,850
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	769,860	0	769,860
経常外費用計	769,860	0	769,860
当期経常外増減額	△ 769,860	0	△ 769,860
当期一般正味財産増減額	7,920,266	10,375,976	△ 2,455,710
一般正味財産期首残高	90,806,113	80,430,137	10,375,976
一般正味財産期末残高	98,726,379	90,806,113	7,920,266
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,100,000	0	1,100,000
特定資産運用益	109	0	109
一般正味財産への振替額	△ 9,512	0	△ 9,512
当期指定正味財産増減額	1,090,597	0	1,090,597
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	6,090,597	5,000,000	1,090,597
III 正味財産期末残高	104,816,976	95,806,113	9,010,863

2015-2016年度役員承認の件

(第3号議案)

会務役職	非改選役員	新役員
会長	大宮英明 (三菱重工業(株))	山下英明 (首都大学東京)
副会長	室田一雄 (東京大学)	中川慶一郎 ((株)NTTデータ数理システム)
庶務	土屋利明 (日本電信電話(株))	根本俊男 (文教大学)
国際		後藤順哉 (中央大学)
研究普及	樫尾 博 (東京ガス(株))	野々部宏司 (法政大学)
編集	水野眞治 (東京工業大学)	猿渡康文 (筑波大学)
会計	渡辺隆裕 (首都大学東京)	
渉外	伊藤大雄 (電気通信大学)	
広報	米沢 隆 (日本IBM(株))	
支部		増山 繁 (豊橋技術科学大学)
無任所	古川哲也 (九州大学)	中山 明 (福島大学)
	市川雅也 (MHIエアロスペースシステムズ(株))	
監事	桑畑暁生 (一般財団法人電力中央研究所)	高橋 豊 (京都大学)